

平成 30年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市生涯学習／女性センター	所管課	男女共生・生きがい推進課、文化芸術課
所在地	岐阜市橋本町一丁目10番地23		
指定管理者名	公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料 (年額)	219,700,000円(平成30年度)		
施設の設置目的	市民の生涯学習を推進するとともに、男女共同参画社会の実現を図るため		
施設概要	鉄骨造高架下3階建て 延床面積 11,555㎡(併設施設含む) 大研修室、中研修室、研修室50、研修室30、小研修室1～4、和室研修室1・2、音楽スタジオ大・小1・2、パソコンルーム、クラフト室、交流サロン、情報コーナー、生涯学習・ボランティア相談コーナー、市民活動ルーム、平和資料室、こどもの部屋、展示コーナー、駐車場		

●利用状況

		H30 下半期	H30 上半期	H29 下半期	H29 上半期	H28 下半期
利用者数(単位:人)		106,812	89,404	113,653	91,423	104,402
各室稼働 状況 (%)	大研修室	88.8	81.4	87.1	87.6	85.9
	中研修室	93.5	92.7	94.7	94.4	93.5
	研修室50	91.8	91.0	90.6	90.4	92.4
	研修室30	97.6	95.5	94.1	96.0	95.9
	小研修室1	98.8	98.3	98.8	98.9	98.8
	小研修室2	96.5	96.6	97.1	96.6	98.2
	小研修室3	95.9	95.5	92.4	92.7	95.9
	小研修室4	99.4	98.3	97.1	96.6	99.4
	和室研修室1	44.1	26.0	42.9	36.2	31.8
	和室研修室2	95.9	93.2	97.1	93.8	96.5
	音楽スタジオ大	93.5	90.4	91.2	88.7	93.5
	音楽スタジオ小1	88.2	81.9	87.1	81.4	92.4
	音楽スタジオ小2	58.8	66.7	61.2	58.8	67.6
	パソコンルーム	81.2	78.5	84.1	81.4	83.5
クラフト室	90.0	78.5	82.4	84.2	79.4	

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適切な運用が行われている。 ②適切な運用が行われている。 ③ホームページ、広報ぎふ、各種情報誌、ラジオなどを利用して、主催事業や活動内容の情報提供を推進している。 ④アンケートを実施するとともに、窓口等で利用者の意見を聴き、可能な限り迅速に対応している。

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
自主事業・提案事業	<p>1. 生涯学習推進業務及びボランティア等市民活動支援業務 ①生涯学習へのきっかけと現代的課題の解決に向けた学習機会の充実 ②地域づくり、まちづくりの推進役となる人材の養成 ③生涯学習拠点施設としての機能の充実と情報発信 ④生涯学習・ボランティアに関する相談業務及び活動支援</p> <p>2. 男女共同参画推進業務 ①学習機能…男女共同参画に関する事業の企画及び実施 ②情報機能…男女共同参画に関する情報の収集・提供 ③交流機能…市民や団体等のネットワークの形成及び、育成・交流 ④相談機能…男女共同参画に関する女性相談業務の実施</p> <p>3. 市民芸術文化振興業務 ①芸術文化への参加・参画の促進 ②芸術文化を担う人材の育成・顕彰 ③芸術文化施設の充実 ④伝統的芸術文化の伝承や活用 ⑤新たな協働による芸術文化の振興</p>	<p>1. 生涯学習推進業務及びボランティア等市民活動支援業務 ①ハートフルレクチャー5講座開催、356人受講。ITコラボレーター会との協働でパソコン講座(8講座各7回)開催、210人受講。 ②市民自主講座30講座開講。市民講師ステップアップ4講座開催、51人受講。ボランティア基礎講座開催、31人受講。 ③市民活動ルームを運営(延べ13,621人利用)。生涯学習・ボランティア相談コーナーの運営(484件の相談、131件のボランティアコーディネーター)。 ④にぎわい創出事業、おいでよ交流サロン、ハートフルスクエアG情報誌の発行(12月、3月)、ハートフルフェスタ2019を開催、地域貢献事業として、美濃中山道ふるさと祭りや清水川さくらまつりに出展(延べ850人参加)</p> <p>2. 男女共同参画推進業務 ①プラチナ世代応援セミナーなど8事業開催、延べ560人受講。 ②「岐阜市女性センターNEWS」4号(12月)、ぎふし男女共同参画情報誌「織」16号(2月)発行。 ③女性の活躍スキルUPアカデミー受講者活動支援事業など4事業開催、延べ9,311人受講。 ④電話・面接相談など3事業開催、延べ相談件数681件(電話相談:402件、面接相談:215件、大相談会:64件)。</p> <p>3. 市民芸術文化振興業務 ①岐阜市民文化祭(美術展覧会、芸術祭、文芸祭)の開催。 ②自主事業の実施 市民芸術文化・スポーツ基金文化事業助成15件(上半期8件、下半期7件) 岐阜市芸術文化奨励賞2名 ③岐阜市美術展覧会、岐阜市民芸術祭の開催。 岐阜市文芸祭(一般の部、小・中学生の部)の開催。 ④市芸術文化協会との連携によるリレートーク(上半期2回、下半期1回)、まちかどコンサート(上半期1回、下半期2回)の開催(交流サロン)、広報誌の発行(7月、11月、3月)</p>
施設管理	<p>日常点検(保全)業務 ①施設管理 ②警備業務 ③清掃・受付 ④駐車場管理 ⑤ごみ収集 ⑥消防設備点検(自主点検) ⑦不審者、危険物(自主点検)</p> <p>法定点検業務 ①消防設備点検(年2回) ②空気環境測定(年6回) ③飲料水水質検査(残留塩素測定)(週1回) “(16・13項目)(年2回) “(12項目)(年1回) ④貯水槽清掃、消毒(年1回) ⑤排水設備清掃(汚水槽含む)(年1回) ⑥ネズミ・昆虫等防除(年2回) ⑦自家用電気工作物保安管理(年6回) ⑧昇降機保守点検(年1回) ⑨自動車用エレベーター保守点検(年1回) ⑩建築設備点検(年1回) ⑪建築物点検(3年に1回)</p> <p>定期点検業務 ①昇降機保守点検(保全点検:年4回、リモート点検:毎月) ②自動車用エレベーター保守点検(年12回) ③空調設備(総合)保守点検(年2回) ④空調設備(GHP)保守点検(年1回) ⑤自動扉保守点検(年4回) ⑥駅西駐車場サービス券機保守点検(年1回) ⑦駐車場料金精算設備保守点検(年3回) ⑧パソコン及び周辺機器保守点検(年4回)</p>	<p>日常点検(保全)業務 ①良好 ②良好 ③良好 ④良好 ⑤良好 ⑥特記事項なし ⑦特記事項なし</p> <p>法定点検業務 ①2/26に実施 ②11/21、1/16、3/13に実施 ③毎週水曜日に実施 1/29に実施 上半期に実施 ④1/29に実施 ⑤2/26に実施 ⑥3/1～1/15に実施 ⑦11/6、1/7、3/15に実施 ⑧12/25に実施 ⑨2/26に実施 ⑩2/27～3/26に実施 ⑪今年度該当しない</p> <p>定期点検業務 ①保全点検:10月30日、1月29日実施 リモート点検は毎月実施 ②10月30日、11月27日、12月25日、 1月29日、2月26日、3月26日実施 ③11月27日実施 ④上半期実施済 ⑤12月25日、1月18日実施 ⑥上半期実施済 ⑦11月27日、3月26日実施 ⑧10月30日、3月26日実施</p>
施設修繕	<p>下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備</p>	<p>①日常点検の中で施設及び備品の状況を適切に把握し、不具合箇所が発見された場合は迅速に対応している。 ②施設利用者への対応、予め危険箇所のチェックなど、ノウハウを生かして適切に修繕・整備を行っている。</p>

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市個人情報保護条例、岐阜市個人情報保護条例施行規則及び(公財)岐阜市教育文化振興事業団個人情報保護規定により適切に実施している。 ②危機管理マニュアルを整備するとともに、事故防止対策の実施、防犯対策の実施、防火対象物点検報告特例認定を取得などを行っている。 ③関係法令を遵守し、運営している。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	実施期間：10/22～/28、11/1～/7、12/15～/21、1/8～/14、2/22～/28、3/15～/21 アンケート総数：181件
利用者アンケートの実施結果	<p>○利用した部屋は 大研修室 4.4%、中研修室 11.1%、研修室50 6.1%、研修室30 9.9%、小研修室1 13.8%、小研修室2 11.6%、小研修室3 9.4%、小研修室4 9.4%、和室研修室1 2.2%、和室研修室2 5.5%、音楽スタジオ大 3.9%、音楽スタジオ小1 5.5%、音楽スタジオ小2 1.7%、クラフト室 4.4%、パソコンルーム 1.1%</p> <p>○スタッフの対応について 満足 66.8%、やや満足 15.5%、ふつう 17.7%、やや不満 0.0%、不満 0.0%</p> <p>○施設や設備の管理状況 満足 60.2%、やや満足 19.9%、ふつう 16.0%、やや不満 2.2%、不満 1.7%</p> <p>○全体的な満足度 満足 64.4%、やや満足 21.7%、ふつう 13.9%、やや不満 0.0%、不満 0.0%</p> <p>※アンケート回答者の割合</p>
利用者からの要望・苦情と対処・改善	<p>・入室したら、シャブー？スパイス？の香りが部屋中にしていました。 → ご迷惑をおかけしました。お部屋の貸し出しの際は基本的には強い香りの出る物の使用はお断りしておりますが、香りが残っているような場合は換気を行いますので職員をお呼びください。</p> <p>・フリーWi-Fiがあると非常に良いです。 → 現在、Wi-Fiの設置はございません。大研修室と中研修室では、有線LAN(無料)がご利用いただけます。</p> <p>・コピー機を使い勝手の良いものと交換してください。白黒にしても、もう少し写りの良いコピー機を希望します。 → お客様用のコピー機については、昨年度29年4月に新しい機種に入れ替えを行いました。読み取り部分の汚れ等により写りが悪いことも考えられますので、お気軽に職員までお申し付けください。</p> <p>・もう少し防音効果があるといいなと思いました。 → 音楽スタジオは防音にはなっていますが、大音量の場合、音が響くこともあります。ご不便をおかけして申し訳ございませんがご了承ください。</p> <p>・前に使用していた人たちが、清掃を細かくやっていない部分があります。 ・テーブルに飲み物の汚れがあった。 → 申し訳ございません。利用された方へは、利用後に清掃・施錠等のチェック表を記入いただくことで原状復帰をお願いしておりますが、気になる汚れ等ありましたら職員や清掃スタッフが対応させていただきます。今後もお気づきの点がございましたら、職員までお声掛けください。</p> <p>・黒のマジックがやややすかった。 → 貸出マーカの色が薄かったとのことで、ご不便をおかけしました。お客様の利用前に、残量の確認を行っておりますが、お使いの際に出にくかったりされた場合はお取替えいたしますのですぐに職員までお申し付けください。</p> <p>・施設予約(PC)での開始時刻 早朝5時から8時くらいにしてほしいです。(4時台に起きるのはつらいです。) → 現在、「岐阜市公共施設予約システム」は通常は24時間利用できますが、毎月1日(1月のみ4日)の5時から、3ヶ月先の予約受付の開始となります。これは、多くの方が「仕事や学校へ出かける前に利用できる」程度として、この時間とさせていただいております。朝早くご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力のほどよろしく願っています。</p> <p>・消灯、点灯しなく、中間が必要。 → 小研修室の照明は現在調光機能はございません。すぐに照明の入れ替えはできかねますが、今後の検討事項とさせていただきます。</p> <p>・少し「床」が汚れているので、業者によるクリーニングとか年に数回入れてくださると嬉しいです。 → 通常、お客様のご利用後は必ず清掃スタッフが床や机の清掃に入り、床のワックスがけを毎年一度のペースで行っております。気になる床の汚れ等ありましたらその場でできる対応はさせていただきますのですぐに職員をお呼びください。</p> <p>・会場の準備の都合上、もう少し早目に会場を開けていただけるとありがたいです。 → ご利用いただきありがとうございます。貸出区分の時間内で準備・片付けまでお願いしております。しかし、利用される方の便宜を図るため、15分前から鍵をお渡ししています。全てのお客様に平等に対応する為時間を決めて対応しております。何卒ご理解をお願いいたします。</p> <p>・ブラインドカーテン(中央)があげられなかった。 → ご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。確認したところ、ブラインドカーテンの紐部分が繋がっていなかった為引くことができない状態でしたので、直ぐに修繕を行いました。今後もお気づきの点がございましたら、その場で職員までお声がけください。</p> <p>・エアコンのスイッチ不良。 → ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。電源のオンオフのスイッチのみ接触不良のようでしたので、正常に押せるものと取り替えさせていただきました。</p> <p>・ギャラリーの計画表等を張り出して欲しい。 → 講座やセミナー、イベントの案内はお客様の目の付くところに設置しておりますが、今後、展示の催し案内についても検討させていただきます。貴重なご意見をありがとうございました。</p> <p>・ピアノが少し(ほんの少し)ですが狂っている様な…。 → 定期的に調律していますが、ピアノの移動や空調による温度差等により、狂いが生じることもあります。いつも万全とはいえないのが現状ですが、ご意見をいただきながら、調律を早める等の対応をしていきたいと思います。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	岐阜市生涯学習／女性センターの運営上の基本方針	・所管の各課と連携を図りながら、岐阜市の生涯学習推進及び男女共同参画推進の拠点施設として、岐阜市の施策に沿った運営を行っているか	S	A	A
		平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・平等利用を確保するための業務を行っているか ・チェック機能(アンケート)等を実施しているか	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌、チラシやホームページで広報されているか	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	生涯学習推進業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、現代的課題に関する講座等の学習機会の提供、啓発イベントの実施、学習情報の収集・提供、学習相談等の業務を行っているか	A	A	A
		男女共同参画業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、男女共同参画に関する講座等の学習機会の提供、情報の収集・提供、女性相談の実施、男女共同参画を推進する市民活動団体・グループとの交流・連携などの事業を行っているか	A	A	A
		ボランティア等の市民活動の支援業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、ボランティア養成講座の実施、啓発イベントの実施、ボランティアや市民活動団体の交流、ボランティア相談業務等の事業を行っているか	A	A	A
		市民芸術文化振興業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、岐阜市民文化祭の開催、文化助成事業、文化団体等の交流・支援等の事業を行っているか	S	S	S
		貸館業務を行っている上での方針と主な事業計画	・生涯学習、男女共同参画、文化芸術活動の場として提供されているか	A	A	A
		生涯学習センターとして既存業務の改善、工夫又は、新規の魅力的な提案の有無、内容	・生涯学習センターの業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	S	S	S
		女性センターとして既存業務の改善、工夫又は、新規の魅力的な提案の有無、内容	・女性センターの業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	S	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応しているか	S	S	S
		利用促進、利用者増の方策	・利用者を増やすための方策を考えているか	A	A	A
施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置			・接遇等の職員研修が実施されているか ・適正な人材を配置しているか	A	A	A
区分評価			S			
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	管理経費削減の具体的方策	・収支予算と実績とは大きく乖離していないか ・具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか	S	S	S
		スタッフ配置の妥当性	・各係の職員の配置を工夫し、閉館時は常に業務に支障が出ないようにローテーションが組まれているか	A	A	A
		区分評価			S	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	・より良いサービスを提供するために職員が勤務しやすい職場環境ができているか ・事業を実施するために必要な資格や知識・経験を有する職員を配置しているか。	S	S	S
		リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応できる体制ができているか ・また、個人情報保護等法令順守は適切に行われているか	S	S	S
		施設管理業務を行っていく上での方針と具体策	・各種機械設備の保守点検等を行うとともに、防犯・防火体制を整え、日常の安全確保に努めているか。	S	S	S
		その他指定管理者の提案によるもの	・常に市民参画部と情報交換しながら、市の施策にあった事業が展開しているか	S	S	S
		区分評価			S	
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元での社会活動の参加及び地元への貢献に関すること	・定期的に施設周辺の清掃を実施しているか ・周辺自治体と連携して、地元のまちづくり活動に協力しているか	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	・長良川大学へ協力しているか ・ハートフルスクエア-G内の他施設と協力して、駅周辺の賑わいの創出に努めているか	S	S	S
		区分評価			S	

●指定管理者の取組みに対する自己評価

今期の取組み に対する評価	<p>生涯学習センター</p> <p>指定管理仕様書・事業計画書及び「第3次岐阜市生涯学習基本計画」「岐阜市文化芸術指針」に基づき、必要に応じて所管課の指示を仰ぎながら、安全かつ効率的な施設管理と事業展開を行った。</p> <p><実施事業></p> <p>生涯学習係</p> <ul style="list-style-type: none">・一般市民を対象とした講座事業では、市民の声に耳を傾け、実施することができた。・ハートフルレクチャーでは、「宇宙からの贈りもの～長良隕石を探ろう～」を上半期に小中学生対象に実施した際に、一般市民からの要望が多数あり、「隕石から学ぶ 宇宙のヒミツ(全2回)」を一般市民対象に実施した。数名が、講師に隕石の鑑定を依頼するなど、何故、隕石と判断することができるのかなど学びを深めることができた。・ハートフルフェスタ2019講演会では、「元号～これまでの年号、これからの元号～」を実施した。今年度ならではの市民の関心が高い内容であったことから、200名を超える応募があった。・各種団体との連携講座では、民間企業の岐阜ヤクルト販売株式会社と連携し「陽がゲンキで、超ゲンキ！」を実施した。今後も、市民ニーズを踏まえながら連携先と協議し、継続した事業の実施を検討していきたい。・国際講座では、岐阜市国際交流協会と連携し、「人のネットワークで国や文化の壁をブチ壊す」を実施した。講師は、アフリカ系として初めて日本の大学で学長となった京都精華大学のウスピ・サコ氏であったことから、学生から高齢者まで幅広い市民の方々が受講した。・生涯学習によるまちづくり人材養成事業は、昨年度までの個人のスキルアップを中心とした内容から講演会形式にしたことで、より多くの市民が生涯学習によるまちづくりに関心を持ってもらうことができた。内容的には、「まちの元気の仕掛人(全3回)」と題し、全国の様々な事例を話してもらい「岐阜のまちづくり」のヒントを提供することができた。また、受講後に意識や行動にどのような変化があったかの追跡調査アンケートを行い、半数の受講生が受講後まちづくり活動に参加したと回答した。・パソコン指導者養成講座「パソコンの教え方、教えます！」は、既に地域でパソコン指導をしている方を対象として昨年度のワード、エクセル、パワーポイントに加え、新規に「セキュリティ基礎知識」を実施した。それぞれの「教え方」を、より専門的に学ぶことができ、充実した内容となった。・災害・防災関連事業「我が家と家族を地震から守る！～避難所に行かないための防災～」では、ボランティアを対象とした事業から発展し、募集対象を幅広く設定し実施したことで、市民が防災に対する理解と意識を高め、防災を知る機会を提供することができた。・生涯学習・社会教育関連施設職員のための研修講座「SNSで伝える！応募につながる発信の仕方」では、市民講師も対象として、募集対象を幅広く設定し実施したことで、市民がSNSに対する知識を高め、SNSによる情報発信をより理解する機会を提供することができた。・市との共催で平成30年度生涯学習「長良川大学」単位認証式及び講演会を、みんなの森ぎふメディアコスモスで実施した。指定管理者のノウハウを生かし、チラシの作成・広報、申込者の処理、当日の受付対応など市と協力して実施した。・市民自主講座を実施した結果、自ら講座で作成した作品の展示やハートフルフェスタでの展示発表、サークル化へつなげた講師もおり、市民講師の育成に寄与することができた。・職員のスキルアップのため、生涯学習・ボランティア相談担当職員がボランティアコーディネーションカ3級を取得した。・相談コーナーの生涯学習情報システム「まなバンク」とボランティア活動団体を再編し、地域活動情報システムに一本化することで、市民がより利用・活用しやすいようなシステムに変更した。再編に関しては、担当課及び市民活動交流センターと協議を重ねた。 <p>文化振興係</p> <ul style="list-style-type: none">・美術展覧会を、みんなの森ぎふメディアコスモスで開催した。会場に一体感がでるようバナー看板の設置や「70年の歩み」を再掲示するなど工夫を凝らし、入場者数は9,417人(昨年度3,960人)と大幅に増加した。・市民芸術祭演劇の部では、岐阜市内で活躍する8劇団が、大小5会場で延37ステージの公演を行った。初めての試みであるカフェでの公演も開催し、新たな観客を増やし入場者数は4年連続3,000名を超えた。・文芸祭(小中学生の部)では、昨年度と比べ、応募人数、応募点数共に増加した。12月3日に審査会を開催し、2月に作品展示と表彰式を行った。 <p><施設管理></p> <ul style="list-style-type: none">・利用者のサービス向上のために、以下の事項に取り組んだ。<ol style="list-style-type: none">①子どもの部屋のマット入れ替え 消臭・抗菌及び衝撃吸収材で且つ、優れた防災機能を備えたマットを設置することにより、利用者が安心・安全に利用できるようにした。②情報コーナーの充実 新たにパンフレットスタンドを増設し、より多くの情報を閲覧できるよう改善した。特に「キャリア開発」講座情報の充実を努めた。③音楽スタジオの充実 利用者がスマートフォンなどの電子端末を使い、気軽に無線(Bluetooth)で音楽を流せるよう環境を整備した。・岐阜駅東2階連絡通路の開通に伴い、以下の事項について改善した。<ol style="list-style-type: none">①連絡通路利用者が安心・安全に利用できるように、経年劣化による照明器具をすべてLED照明に取り替えた。②ハートフルカフェ利用者のプライバシーを守るため、窓ガラスに目隠しフィルムを設置した。・事故防止対策としての日常点検を強化し、発見した危険箇所は迅速に改善を実施した。<ol style="list-style-type: none">①駐車場出入口ボールの修繕 駐車場利用者の安全確保のため②3階駐車場コーナーガードの取替 柱のコーナーガードが破損したため③3階駐車場の車止めの修繕 劣化により車止めが破損したため・利用者の利便性向上及び生涯学習センターの周知を図るため、案内看板等の表示方法や設置場所を見直し、看板の増設や表示場所を変えて分かりやすくした。
------------------	--

- ・5月に電力供給会社を変更したことで、今期において対前年度比電気使用量94.0%、電気料金93.2%となり経費縮減を図ることができた。
- ・防犯・防火について日常の安全確保に努めるとともに、消防設備点検で指摘を受けた不良個所において早急に修繕を実施した。
- ・施設の平等利用を確保するため、毎月1日に施設利用の抽選会を実施している。また、予約システムへの登録を窓口・電話等で積極的に案内した。

<リスク対応>

- ・個人情報保護担当者を配置し、個人情報管理の徹底を図った。
- ・暴力団対策法に基づく不当要求防止責任者選任事務所の表示を受付に掲げ、反社会勢力に対しての姿勢を示した。
- ・職員が認知症についての理解を深め、接する時の心構えを学び、思いやりのある施設を目指すため、認知症サポーター養成講習を受講した。
- ・障がい者や高齢者に優しい施設づくりを目指し、車いす体験・高齢者疑似体験研修会に参加することで、障がい者や高齢者に対する理解を深めた。
- ・基本的人権について正しい認識を持ち、公の施設としての管理運営を適切に行うため、人権研修に参加した。
- ・組織として情報セキュリティポリシーやSNS等運用指針を整備すると共に、情報セキュリティの研修会に参加し、情報セキュリティ対策における理解を深めた。
- ・非常に備え、各職員が適切に行動できるよう図書館や消費生活センターなどの各施設と連携し、緊急地震速報対応の避難訓練(11月)を実施した。また、防災士/防災リーダーの資格を取得した職員2名を中心に、緊急時、災害時の対応についてマニュアルを基に共通理解を図った。
- ・“応急手当協力事業所”登録施設として、職員全員がAEDを的確に使用できるよう普通救急救命講習を受け、施設内のみならず、駅周辺での急病人や負傷者の応急手当や救急隊到着までの応急措置を学んだ。

<受入れ事業>

- ・市内外中学校からの依頼により、中学生職場体験プログラムで5名を受け入れ、美術展覧会の受付など生涯学習センター・女性センターで様々な体験の場を提供した。

<その他>

- ・応急手当協力事業所として、地域の方の安全安心に貢献した。
- ・快適な公共空間を提供するためアダプトプログラムに参加し、ハートフルスクエアG全体で施設周辺の美化に努めた。

女性センター

- ・指定管理仕様書・事業計画書及び「第3次岐阜市男女共同参画基本計画」に基づき、必要に応じて所管課の指示を仰ぎながら、主催事業の開催について計画通りに実施した。

<実施事業>

- ・新規事業として「女性の活躍スキルUPアカデミー(リーダー編)」(10月・全2回)を開催。定員30名に対し53名の応募があり、講師の配慮により全員当選とした。女性リーダーのロールモデル不在の不安を和らげ自信につながる内容で、満足度は100%と好評を得ることができた。また、セミナー後の交流会には8割を超える受講生が参加した。
- ・「そのとき！に備えて」(10月・全2回)を開催。昨年度までの高齢者に特化した内容から、乳幼児と高齢者、両方の視点で講座を企画したところ、幅広い年齢層からの応募があった。実技を多く取り入れた内容で、満足度91%と好評を得ることができた。
- ・今年度2回目の「女性の生き方・働き方大相談会」(11月)を開催。徐々に周知されてきており、定員の9割(第1回は8割弱)を超える申込みがあった。専門家からの適切なアドバイスが得られたことから、今回も満足度は92%(第1回が91%)と高い評価を得ることができた。
- ・“ワーク・ライフ・バランスの日”(11月23日)に合わせ、「ワーク・ライフ・バランス講演会」(11月)及び「ワーク・ライフ・バランス講座」(12月・全2回)を開催。講演会には著名な講師を招くことができ、定員100名に対し184名の応募があった。講座は小学生以上を対象に“整理術と掃除術”の内容で企画したところ、親子や夫婦での申込みもあり、50名の定員に対し141名の応募があった。抽選の結果、親子4組、夫婦3組が参加した。どちらも実践的な内容で受講者から好評を得ることができ、満足度は講演会95%、講座97%となった。
- ・岐阜市立女子短期大学からの依頼により、「男女共同参画の視点での『自立』と『働く価値観・働き方』」をテーマに出張セミナーを実施。新たな試みとしてハートフルネットぎふ会員団体との協働で行い、参加した学生へのより深い男女共同参画への理解につなげることができた。また、会員団体の活動の場の提供と新たなネットワークの構築のきっかけとすることができた。
- ・講座受講者に対し、受講者活動支援事業やハートフルフェスタなどセンターの事業への参加を促し、一人ひとりの可能性やチャレンジを“孵化する場”として、学んだ事を活かせる機会を提供した。参加者は多様な場面で活動することで、新たな繋がりを築き、活動の幅を広げることができた。
 - 上半期に引き続き、前年度の「女性の活躍スキルUPアカデミー」の受講者3名によるこどもの部屋を活用した「みんなであそぼっ」(第2期10～12月・全4回、第3期2～3月・全4回)を開催した。3名は第1期の経験を活かし計画を立て、より充実した内容で実施することができた。またそれぞれが今回の経験をもとに、個々の講座やサークルへと活動の場を広げることができた。
 - 父親の積極的な育児参加を促すため、「パパtoいっしょにあそぼ！『パパとリトミック』」を2回(2・3月)開催。父親ならではのダイナミックな遊びを取り入れたリトミックで、好評を得ることができた。また、今年度の受講者活動支援事業の企画者が英語による絵本の読み聞かせを行い、有意義な時間を提供することができた。
 - 今年度の「女性の活躍スキルUPアカデミー」受講者が、ハートフルフェスタ2019において3名がブースを出展、1名がステージイベントを行った。多くの市民と交流することで、自身の活動の一步を踏み出すきっかけとすることができた。
- ・ここ数年で一番多い9名の方が参加した男女共同参画情報誌「織」の編集会議では、自由に意見を出し合う中で“海外の男女共同参画事情”に話題が進んだ。それをテーマに特集記事を企画し、情報誌の作成・発行に至った。この事業を通して、意思決定の場に参画し、新たな行動や繋がりを生み出す機会を提供する役割を担うことができた。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の声から開催曜日を変更した面接相談の1つ「再就職相談」は、上半期と同様に相談件数が21件から31件に増加した。また、電話相談は前年度と同様の件数であったが、上半期に比べ長年相談を受けていたリピーターの利用件数が減り、代わりに新規の利用者が目立った。相談案内カードを増刷し市内各所に配置したことなど、センターの周知に努めてきたことが要因の一つではないかと考える。 ・ <その他> ・ 受講者支援や出張セミナーにおいて女性のキャリアデザインや両立支援などに活用できるよう、職員がキャリアアランプ®ファシリテーター及びメンタリング資格を取得した。 ・ 利用者の利便性向上及び女性センターの周知を図るため、案内看板等の表示方法や設置場所を見直し、看板の増設や表示場所を変えて分かりやすくした。 ・ 市主催の男女共同参画優良事業者表彰式において、センターのブースを出展。昨年度作成した啓発パネルに加え、新たにセンターで行っている女性の活躍を支援する事業をまとめたパネルを作成しPRを行った。また、講座受講者等にも参加を促し、市の事業に積極的に協力した。 ・ 県主催の相談員研修に職員2名が参加。その後、研修会で紹介された事例をもとにセンター内でケース検討会を実施した。情報共有することで、職員の専門性の向上と相談業務の拡充に努めた。
<p>前回までの意見の 取組み状況</p>	<p>生涯学習センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 週末開催のハートフルフェスタ2019に絡め、施設全体にもにぎわいのある土・日に講座を2講座開講した。そのことにより、幅広い年齢層からの応募があった。また、受講者には、講座終了後にハートフルフェスタに参加してもらうようにPRした。 <p>女性センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下半期においても「みんなであそぼう(第2期・第3期)」を開催。引き続き、女性の活躍スキルUPアカデミー受講者の活動を支援した。また、今年度の講座受講者においても、ハートフルフェスタへの参加を促し、3名がブース出展、1名がステージイベントを行った。一人ひとりの可能性やチャレンジを“孵化する場”として、学んだ事を活かせる機会を提供することができた。 ・ リニューアルした「女性センター情報コーナー」では、センターの事業や“DV防止週間”などに合わせ配置や掲示内容を変え、より情報が得られやすいように工夫・改善に取り組んだ。 ・ 複合施設の中で女性センターの所在が分かりづらいという指摘を得たことから、施設1,2階の各出入口(自動扉等)の表示やサイン看板の標記内容を変更し、改善に取り組んだ。また、昨年度作成した男女共同参画啓発パネルを「ハートフルフェスタ」や「男女共同参画優良事業者表彰式」など、施設内外の多様な場面で活用し、男女共同参画の啓発を進めるとともにセンターの周知に努めた。
<p>今後の取組み</p>	<p>指定管理仕様書・事業計画書及び「第3次岐阜市生涯学習基本計画」「岐阜市文化芸術指針」「第3次岐阜市男女共同参画基本計画」に基づき、必要に応じて所管課の指示を仰ぎながら、安全かつ効率的な施設管理と事業展開を行っていく。</p> <p>生涯学習センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習拠点施設として、「生涯学習によるまちづくり」と「生涯活躍社会」の構築を目指し、引き続き職員全員が共通理解のもとで、施設運営及び事業実施に取り組む。 ・ 施設利用者や講座受講者からいただく声に可能な限り応えられるよう、内容によっては所管課の指導を受けながら迅速な対応を心がけ、公共施設としての役割を果たしていく。 ・ 生涯学習拠点施設としての機能を活かしながら「個人の需要を充足する生涯学習」だけでなく「現代的課題・地域課題に対応する生涯学習講座」を企画し事業の充実を図る。 ・ 事業計画に基づき「生涯学習によるまちづくり人材養成事業」、「パソコン指導者養成事業」などを実施し、将来的に岐阜市において地域づくり、まちづくりの推進役となる人材の養成に努める。 ・ 平成30年度において新規事業として行った事業について、事業の内容や取り組みを振り返り、より充実した事業となるよう努める。 ・ 市民自主講座の開講支援事業において、開講講師の「講師報告会」や受講者アンケートなどで得た意見を基に運営方法の工夫改善に取り組み、次年度の計画を進める。 ・ 市民自主講座の広報方法について、講師や市民からの要望で、前期・後期での掲載を希望する声が多くあり、今後の市民自主講座について、前期・後期での掲載の検討を進める。 ・ 「地域貢献事業」等の実施やホームページ・情報誌などを活用し、市民のニーズに応じた情報の発信に努める。また、みんなの森ぎふメディアコスモスやコミュニティセンター、公民館など地域に密着した施設と連携を図ることで、相乗効果による情報の共有・発信の充実を図る。 ・ 生涯学習・ボランティア活動に関する相談及び活動支援において、受託している市民活動交流センターでの相談業務との情報共有をはじめ、交流センターと多様な面で連携を深めることで、中間支援組織としての機能の拡充に努める。 ・ 生涯学習・ボランティア活動に関する相談及び活動支援において、リニューアルしたまなバンクを今まで以上の登録及び活用がされるよう各関係機関に直接説明に赴き、PRに努める。 ・ 美術展覧会を文化センターで開催するにあたり、滞りなく実施できるよう計画を進めると共に、作品に対する写真撮影の解禁など満足していただけるような展覧会を目指す。 <p>女性センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 男女共同参画拠点施設として、「第3次岐阜市男女共同参画基本計画」に則り、男女共同参画社会の実現を目指した講座の充実を図る。 ・ 指定管理期間の3年目を迎えるにあたり、事業全体の見直しを図り事業計画を立てた。学習事業においては「あらゆる場での男女共同参画の推進」と「女性の活躍推進」の2つの視点から各講座を企画・実施していく。 ・ 女性活躍の裾野を広げていくため、今年度実施した「女性の活躍スキルUPアカデミー受講者支援」や「ハートフルネットぎふ会員団体との協働事業」をもとに、新規に交流事業「男女共同参画つながり創出事業」を実施する。団体や受講者に広く活動の場を提供するとともに、団体同士や市民など新たなつながりの創出を図っていく。 ・ 男女共同参画の理解を深められるよう、新たな啓発誌及び啓発パネルを作成する。そのために、多様な視点での情報収集に努める。また、情報コーナーの拡充を図るとともに、SNSを活用した適切で最新の情報発信を行っていく。 ・ 相談員のスキルUPを図るため、各種研修に積極的に参加し学びを深める。

●所管課の意見

生涯学習センター

- ・講座については、多くの講座で定員以上の応募があり、講座の企画・提案等については、素晴らしいと思われる。上半期に実施した小中学生を対象にした講座で、市民から一般を対象とした講座を開催してほしいという要望が多くあり、その要望に対応し、講座を実施した。
- ・利用者アンケートを毎月実施しており、アンケートに基づいて優先順位を付け、利用者の安全を第一に考え、施設修繕、改修を行っており、評価できる。
- ・施設の日常点検及び休館日の定期点検をしっかりと行っており、利用者の安全性やサービス向上のために高いレベルで対応できていると思われる。
- ・リスク対応として、非常時に備え、各職員が適切に行動できるよう館内各施設と連携し、避難訓練を実施し、昨年度常勤では0人だった防災士／防災リーダーの資格を2名取得し、緊急時、災害時の対応について備えた点も評価できる。
- ・地域のまつりにもブースを出展し、地域との連携を深め、にぎわいも創出し、生涯学習の様々な情報発信にもつなげた。
- ・利用者の利便性向上及び施設の周知を図るため、案内看板等の表示方法や、設置場所を見直し、分かりやすくした。施設内の利用者に配慮し、常に改善する姿勢が評価できる。
- ・文化振興業務についても、事業計画に基づき、岐阜市の施策に沿った事業が積極的に展開されている。
- ・岐阜市美術展覧会においては、みんなの森 ぎふメディアコスモスで開催し、会場に一体感がでるようバナー看板の設置や「70年の歩み」を再掲示するなど工夫をし、入場者数は9,417人と1万人に迫る勢いで、昨年度から大幅に増加した。また、市民芸術祭演劇では、初の試みであった、カフェ公演を開催し、新たな観客を増やすなど、入場者数は4年連続3,000名を超えた。このように積極的に挑戦する点を評価する。

女性センター

- ・岐阜市の計画に則り事業を展開され、応募者が大変多いということは、社会の動きに対応した事業が、企画・実施されていることでもあり評価できる。
- ・学習の場を提供するだけでなく、チャレンジしたい人に活躍の場を提供する「受講者活動支援」を積極的に行われたことは、女性活躍に資する取り組みであり、大変高く評価できる。
- ・利用者の利便性を図るための案内看板等の表示方法や設置場所の見直し、看板の増設など、環境整備に工夫されたことは評価できる。
- ・女性センター事業には専門的な知識が必要となる事業もあることから、専門性を高めるため新たな資格取得に励むなど、職員の意識が高いことが伺える。そのスキルを生かし、男女共同参画社会実現のための情報発信に今後も努めていただきたい。

●指定管理者評価委員会の意見

施設の管理においては、施設の安全に留意した管理がなされている。
地域づくり、まちづくり推進役となる人材養成は、他では見たことがなく、良いスパイラルであり、効率が良い。是非今後も継続していただきたい。